

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	えんりっち		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容や支援の専門性の高さについては、満足度が高い結果が多かった。	週に1回研修を実施していることに加え、新しい職員向けのカリキュラムもあり、支援の質を維持・向上できるように取り組んでいる。	今後は事例を検討するなど、子どもの発達理解や、支援の幅を広げるための研修等を実施し、より充実した支援となるように研鑽していきたい。
2	保護者や児童に対して、職員が受容的、親身になって対応してくれるなど、職員の態度や対応についての満足度が高かった。	まずは気持ちを受容・共感することが信頼関係構築の第一歩であること、信頼関係の構築が支援の入口と共通理解を持つよう心がけている。	一方で「忙しそうに感じる」という意見もいただいております。現状に満足せず、さらに接遇の質を高められるよう、研修などに取り組んでいきたい。
3	遊具やおもちゃ、支援グッズが豊富であること	感覚統合を主軸としていながらも、運動や感覚、コミュニケーション、学習に必要な支援グッズ等もできる限り用意するようしている。	支援を通じて、必要な物品等を準備し、可能な限りオーダーメイドでの支援ができるよう取り組んでいきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の幼稚園や小学校との交流や、地域で他の子どもと活動する機会がない	弊所では個別療育による専門的な支援を中心としているため、イベントなどの開催が運営的に難しいことが要因と考えられる。	利用者様のニーズとして、個に対する支援を希望されること多いため、どの程度まで実施可能かはわからないが、地域の子どもたちと交流できる機会をイベントとして作っていけるよう検討していく。
2	保護者会等は開催しているが、対象が部分的となっている。また、父母の会の支援などはできていない。	以前は全体向けに保護者会を開催していたが、現在は人員の関係上、実施できていない。	今年度から年に数回実施していく予定である。
3	マニュアルはすべて作成しており、研修・訓練なども実施しているが、利用者様に周知ができていない。	マニュアル等を事業所内に配架しているが、お子様の手の届きにくい場所に位置しているため、保護者様も気づきにくいと考えられる。	設置位置については変更が難しいため、SNSでの発信をしていけるよう取り組む。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	えんりっち
------	-------

公表日 2026年 4月 30日

利用児童数 55 回収数 25

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	0	0	0	フィードバック時に話をお伺いしたいのですが、息子も先生と遊びたがるので、そのタイミングだけ別の方が入って下さるともありがたいです	ご意見ありがとうございます。慌ただしくフィードバックをすることになり申し訳ございません。もう一人人員を配置することは難しいですが、お子様がお一人でおもちゃで遊んで待てるよう環境設定を考え、しっかりとお話ができるように改善を図ります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	1	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1	0	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	1	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	3	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	12	4	6	3	プログラムに園との交流はありませんが、子供の通う園に事業所の先生が園での様子を見に行ってくれる、訪問サービスはあります。	ご意見ありがとうございます。ご希望に合わせて関係機関連携を行っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1	1	4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	3	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	5	0	0	こちらからのアクションがなければ足りない気がする	ご意見ありがとうございます。今後は積極的に御相談事がないか等、お伺いしていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	3	4	7	保護者会はありますが、きょうだいに向けたものは特にありません。	ご意見ありがとうございます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2	0	3		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	0	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	0	0	5		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	1			
非 常	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	4	1	7		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	4	2	14		

…  
時  
等  
の

25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	6		
----	--	----	---	---	---	--	--

対 応	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	2	0	8	他の療育園で、クッキングで火傷を負った児童がいたが、施設からはなんの報告もなく、保育園の担任が火傷に気付いたとの事例がありました。えんりっちゃんでもクッキングがある為、気をつけて頂けると嬉しいです。	ご意見ありがとうございます。クッキングの際には細心の注意を払いたいと思います。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	25	0	0	0		
	満 足 度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	1	0	0	えんりっちに行く＝ママという時間が増えるという理由で、楽しみにしている
29		事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	0	先生方の子供への接し方を見て、親が学ばせて頂いています。大変勉強になります。	ご意見ありがとうございます。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		えんりっち				公表日	2026年 4月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	安全面に気をつけている。	グループでは広すぎる気がします	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	丁寧な支援が行える人員配置で療育を行っている	・グループでは、遊具の出し入れ等が必要な状況や、手洗いで部屋間を移動する際には、目が届き切らないと感じることはあるが、保護者と協力してカバーしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	子どもの導線にそって環境設定を行っている	・お子さんの発達特性の程度によっては、課題の提供の仕方に課題を感じることもあり、どのように提示したら理解してもらえるのか検討が必要に感じる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	消毒、清掃などを日々行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	ブレイルーム、個室などが用意されている		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・研修や、グループ療育、運営等担当者が配置されており、それぞれに年間の目標を立てて、中間や年度末に振り返りを行っている。	理解はしているが実践は難しい療育の振り返りは行っているが、スタッフの知識、スキルをあげる必要がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・把握する機会を設けている。運営会議でみんなで見直し、次年度の業務に活かしている。	保護者向け評価表が何かわかりません	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・運営会議を毎週開催しており、気になったことなどについては話し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2		・しているか知らない。 ・していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・毎週研修がある。 ・児発管や強度行動障害支援者研修など外部の研修への参加費用も補助されている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・利用者様のページに公表されている。	・公表しているか知らない。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	9	・アセスメントやモニタリングを行ったうえで計画書を作成している。	・こどものニーズとなると本人が話せない場合にはきちんと把握できているか心配な時もある。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・理想の子ども像を職員間で共有し、対応などに困った際には、その子の気持ちに沿ったり、成長につながるように意識している。支援会議にて意見交換、共有を行っている	・最善の利益と言われると、自信のない部分はある。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・計画書を基に情報を共有したり、支援内容について検討している。	・非常勤のスタッフに関しては、共有不足の時がある気がする。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・日々の子どもの行動や運動については、行動観察などにより評価し、次の支援につなげている。 ・必要に応じて、社会生活や読み書き、感覚などのフォーマルな検査を実施している。	・フォーマルな検査があることは知っているが、一人で実施できるかは不安で実施できていない。 フォーマルなアセスメントは少ないかもしれません。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・必要な項目、支援内容が設定されている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・個別療育に関しては一人で立てているが、グループ療育のプログラムが会議で検討して立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・お子さんの状態に合わせてステップアップするように支援している。	・工夫しているが、活動を段階付けていくことに難しさを感じる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		臨機応変さはあるものの、定員があるので、グループや個別の方がいい方も	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・グループ療育の際には、打ち合わせを行っている。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・療育終了後には振り返りを行い、子どもの姿や課題の共有、プログラムの改善点などについて話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・記録を書いている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・モニタリングは必ず行っている。 ・支援計画を書き直している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・児発管が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・保護者の希望に応じて、保育所や学校と管理者が連携を行う体制をとっている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・計画書には、移行支援の内容を定めている。	・関係機関との情報共有についてはすべての園とは行えていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・就学相談で相談する内容などを保護者と相談している。	・就学先の小学校とは連携はできていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		・児童発達支援センターにスーパーバイズしてもらえないことを知らなかった。 ・窓口がどこで、どのような支援を受けられるのかわからない。あるならば受けたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3		・交流などは行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・日々の療育の中で、お子様の成長や課題のポイントなど共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	・保護者会を開催し、その中でテーマを決めて研修を行っている。	・個別療育を受けている家族には参加がむずかしい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に詳細に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・アセスメントの中で、意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・日々の療育内でも相談を受けているし、必要に応じて児発管が相談に乗っている。	・相談には乗っているが、適切な回答ができていないか不安。助言内容などについては研修などで研鑽が必要。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2	・保護者会を開催し、その中でテーマを決めて研修を行っている。	・個別療育を受けている家族には参加がむずかしい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・苦情解決窓口があり、受け付けている。	・苦情がどの程度あるかわからない。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・インスタグラムで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・留意している。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・絵カードなどを使用している。	・視覚障害や聴覚障害をお持ちの方は利用されていないが、利用があった場合には意思疎通が難しいと感じるため、必要に応じて準備が必要。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・えんりっちひろばの活動では、地域の子どもたちに遊具などを体験してもらっている。	・行事などはしていない。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルを策定している。毎年見直している。	・周知できているかは不明。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・BCPを策定している。 ・備蓄品についても準備している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	・契約時に確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・食物アレルギーも利用時に確認している。	・現在、食物アレルギーへの対応が必要な児童がいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全計画を策定しており、訓練や研修を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		・家族への周知できているかは不明。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・朝礼でヒヤリハットを共有している。 ・必要に応じて柱などの防護を行っている。	・下半期では報告数が下がってくるため、次年度は意識づけが必要。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・研修をしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・している。		